



平成 30 年 5 月 10 日

各 位

会社名 日鉄鉱業株式会社  
代表者名 代表取締役社長 佐藤 公生  
(コード番号 1515 東証第1部)  
問合せ先 管理課長 長田 弘樹  
(TEL 03-3216-5322)

## 第1次（2018年度～2020年度）中期経営計画策定のお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、2018年度から2020年度を対象とした中期経営計画の策定について決議しましたので、下記のとおりお知らせします。

### 記

#### 1. 長期ビジョン

**資源の開発・安定供給を通じて社会に貢献するとともに、「総合資源会社」としてグループの総合力を発揮し、持続的成長を実現する。**

～ 当社事業の基軸である資源事業では、資源の安定供給に努めるとともに、長年培った技術力を最大限活かして、新規資源の確保・開発並びに鉱物資源の価値向上を図る。さらに鉱山・地質コンサルティングなど鉱山周辺技術の開発に取り組み、「総合資源会社」としての事業基盤の更なる強化を目指す。また、機械・環境事業、不動産事業、再生可能エネルギー事業など当社グループの総合力を発揮して、企業の持続的成長を実現する。 ～

#### 2. 中期経営計画方針

**将来の大型投資案件を見据え、強靱な経営基盤を構築する。**

～ 当社グループでは、今後、国内では鳥形山鉱業所（石灰石）の第3立坑建設工事の本格化や八戸鉱山（石灰石）の新規鉱区開発、また国外ではチリ共和国アルケロス銅鉱山開発工事など、新規鉱源の確保や安定供給体制の確立に向け、将来の成長を見据えた大型投資を積極的に実施する計画としている。このため、本中期経営計画期間は、これら大型投資に向けた企業体質強化のための準備期間と位置付け、鉱物資源の価値向上に向けて積極的に取り組むとともに、一層の生産性の向上、コストダウンを行い、企業収益力の最大化を図っていく。 ～

### 3. 数値目標 『営業利益 100 億円以上の達成』

#### (1) 前提条件

- ① 為替 : 105 円/ドル
- ② 銅価 : 290 セント/ポンド

#### (2) 利益計画

	2018 年度 計 画	2019 年度 計 画	2020 年度 計 画
売 上 高 (億円)	1,170	1,152	1,155
営 業 利 益 (億円)	78	79	100
経 常 利 益 (億円)	71	75	98
親会社株主に帰属 する当期純利益 (億円)	38	42	58

### 4. セグメント別戦略

#### (1) 資源事業（鉱石部門）

長期ビジョン	石灰石をはじめとした鉱物資源の新規開発及び安定した生産・供給体制を確立し、持続的成長を目指す。
中期経営計画の 目 標 と 戦 略	①石灰石等の鉱物資源の拡販と価値の向上 ②経済的、合理的な採掘、生産方法の追求 ③国内外における石灰石等の鉱物資源開発の推進 ④BCP（事業継続計画）の維持、発展

#### (2) 資源事業（金属部門）

長期ビジョン	製錬業と鉱山業の両輪を効率的に回し、シナジーを創出することによって利益の最大化を図るとともに、新規鉱源の開発により持続的成長を目指す。
中期経営計画の 目 標 と 戦 略	①国内製錬コスト低減による製錬事業の業績改善 ②チリ共和国アタカマ銅鉱山の安定操業並びに追加鉱量の獲得 ③チリ共和国アルケロス銅鉱山の調査、開発促進 ④銅以外の非鉄金属の事業化検討

(3) 機械・環境事業

長期ビジョン	社会のニーズに応じた良質な商品を提供するとともに、事業フィールドのアジア圏への拡大を含め持続的成長を目指す。
中期経営計画の目標と戦略	<p><b>【環境部門】</b></p> <p>①企画提案型ビジネスの強化によるブランド力の向上</p> <p>②海外新拠点開拓によるアジア市場への販路拡大</p> <p><b>【機械部門】</b></p> <p>①海外調達量の増大によるコストダウン推進</p> <p>②I o T活用による新しいサービスの提供</p>

(4) 不動産事業

長期ビジョン	社有不動産を有効に活用し、安定収益の確保を最優先して効率的運営を行う。
中期経営計画の目標と戦略	<p>①賃貸物件価値の最大化</p> <p>②遊休社有地の洗い出し及び採算性を見極めた中での新規物件の事業化</p> <p>③テナント先との信頼関係の構築、強化</p>

(5) 再生可能エネルギー事業

長期ビジョン	再生可能エネルギーの調査・開発・運営を通じて、地球環境保全への貢献を目指す。
中期経営計画の目標と戦略	<p><b>【地熱発電】</b></p> <p>大霧発電所への蒸気安定供給と新規開発推進</p> <p><b>【太陽光発電】</b></p> <p>全国8箇所のメガソーラー発電所の安定操業と管理の効率化</p> <p><b>【水力発電】</b></p> <p>釜石鉱山大橋地下発電所及び第2発電所の安定操業</p> <p><b>【新規テーマ】</b></p> <p>経営資源を活用した新規開発テーマの探索</p>

## 5. 資金計画

	2018年度 計 画	2019年度 計 画	2020年度 計 画
営業キャッシュフロー（億円）	112	113	130
有利子負債残高（億円）	199	193	228
自己資本比率（%）	60.1	60.8	60.0

## 6. 設備投資計画

	2018年度 計 画	2019年度 計 画	2020年度 計 画
設 備 投 資（億円）	90	90	179
減 価 償 却 費（億円）	71	71	73

## 7. 株主還元方針

### (1) 基本方針

自己資本の充実と株主還元の両面の最適なバランスを図りながら、長期安定的な配当を実施する。

### (2) 配当目標

本中期経営計画の最終年度までに、年間1株当たり100円以上を目指す。

## 8. 添付資料

第1次（2018年度～2020年度）中期経営計画 概要

以 上

本資料に掲載されている計画、見通しに関する内容につきましては、当社が現時点で合理的であると判断する一定の条件に基づき作成したものであり、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。

実際の業績は、様々なリスク要因や不確実な要素により、本資料の計画等と大きく異なる可能性があります。



日鉄鉱業株式会社

# 第1次 中期経営計画 概要

## (2018年度～2020年度)

平成30年5月10日

(証券コード：1515)

# 中期経営計画 目次

1. 長期ビジョン P. 3

2. 中期経営計画方針 P. 4

3. セグメント別戦略 P. 5

4. 資金計画・設備投資計画 P.11

5. 資源開発 P.12

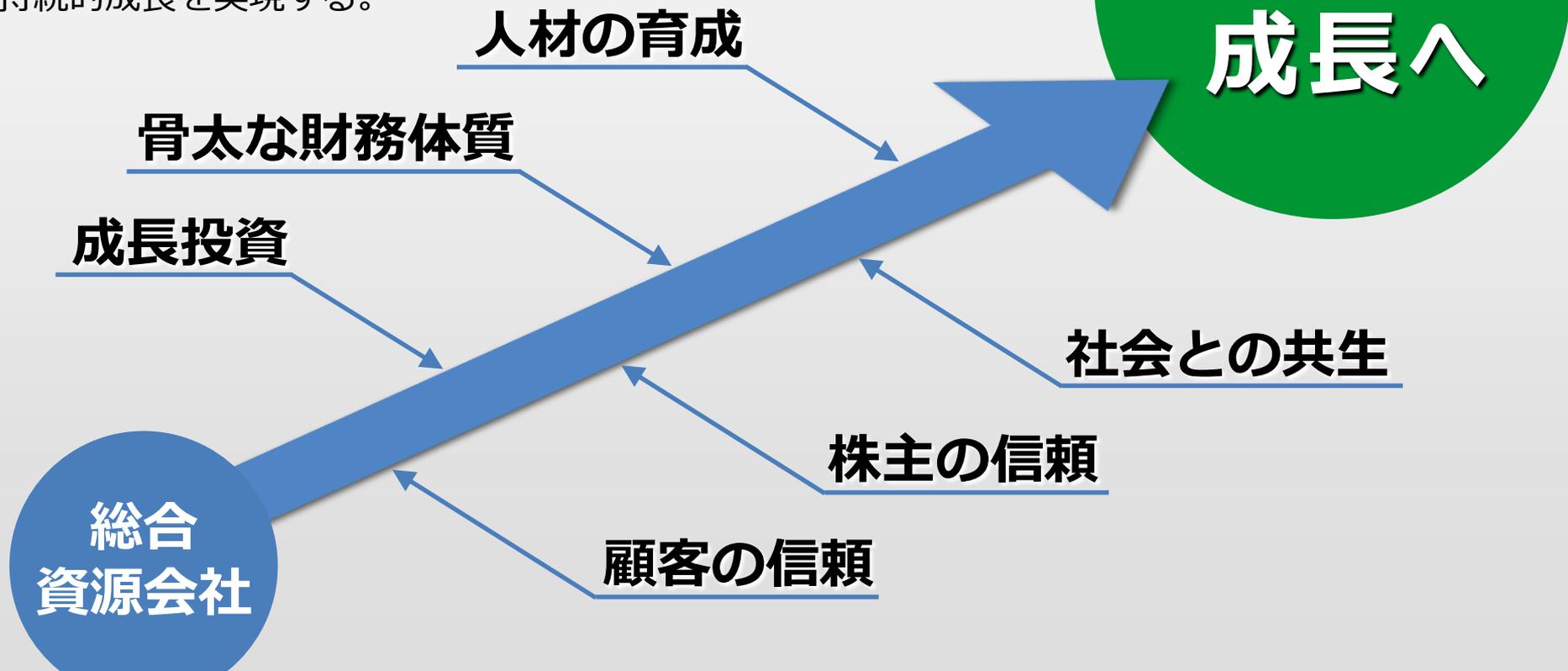
6. 研究開発 P.13

7. 株主還元方針 P.14

8. 将来情報についての注意事項 P.15

# 1. 長期ビジョン

資源の開発・安定供給を通じて社会に貢献するとともに、「総合資源会社」としてグループの総合力を発揮し、持続的成長を実現する。



## 2. 中期経営計画方針

### 「将来の大型投資案件を見据え、強靱な経営基盤を構築する。」

当社グループでは、今後、国内では鳥形山鉱業所（石灰石）の第3立坑建設工事の本格化や八戸鉱山（石灰石）の新規鉱区開発、また国外ではチリ共和国アルケロス銅鉱山開発工事など、新規鉱源の確保や安定供給体制の確立に向け、将来の成長を見据えた大型投資を積極的に実施する計画としています。

このため、本中期経営計画期間は、これら大型投資に向けた企業体質強化のための準備期間と位置付け、鉱物資源の価値向上に向けて積極的に取り組むとともに、一層の生産性の向上、コスト削減を行い、企業収益力の最大化を図ってまいります。

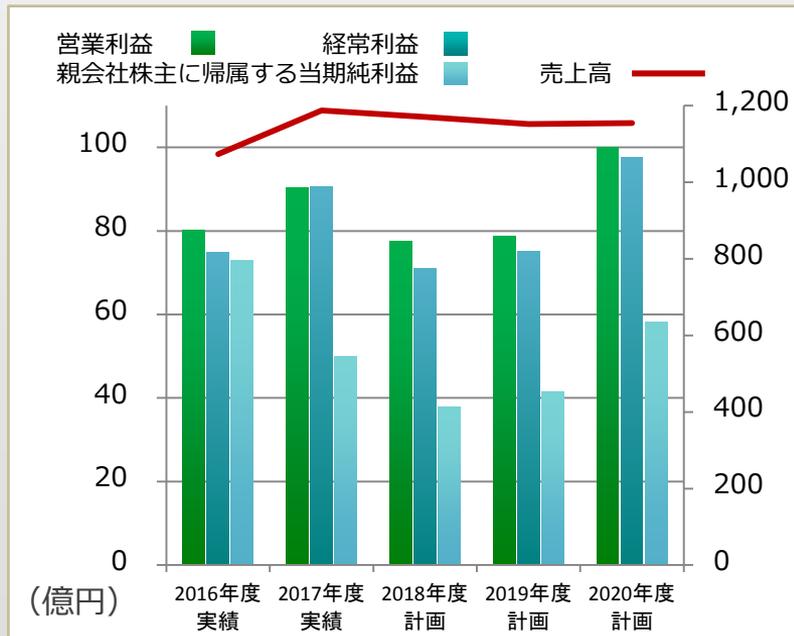
### 数値目標：営業利益100億円以上の達成

<前提条件>

- ・為替 … 105円/ドル
- ・銅価 … 290セント/ポンド（6,393ドル/トン）

	2016年度 実績	2017年度 実績	2018年度 計画	2019年度 計画	2020年度 計画
売上高	1,105	1,206	1,203	1,185	1,189
セグメント調整額※1	△ 32	△ 19	△ 33	△ 33	△ 34
計	1,073	1,187	1,170	1,152	1,155
営業利益	107	106	109	111	121
セグメント調整額※2	△ 27	△ 16	△ 31	△ 32	△ 21
計	80	90	78	79	<b>100</b>
経常利益	74	90	71	75	98
純利益	72	49	38	42	58

※1 セグメント間の内部売上高又は振替高 ※2 セグメントに属さない費用等の調整額



### 3. セグメント別戦略 資源事業（鉱石部門）

国内最大規模を誇る鳥形山鉱業所をはじめ、全国各地に石灰石鉱山を有する。

業界トップクラスの年間約2,500万トンの石灰石を生産。

（国内の鉄鋼メーカーやセメントメーカーなどに販売、一部はオーストラリア・台湾等へも輸出）

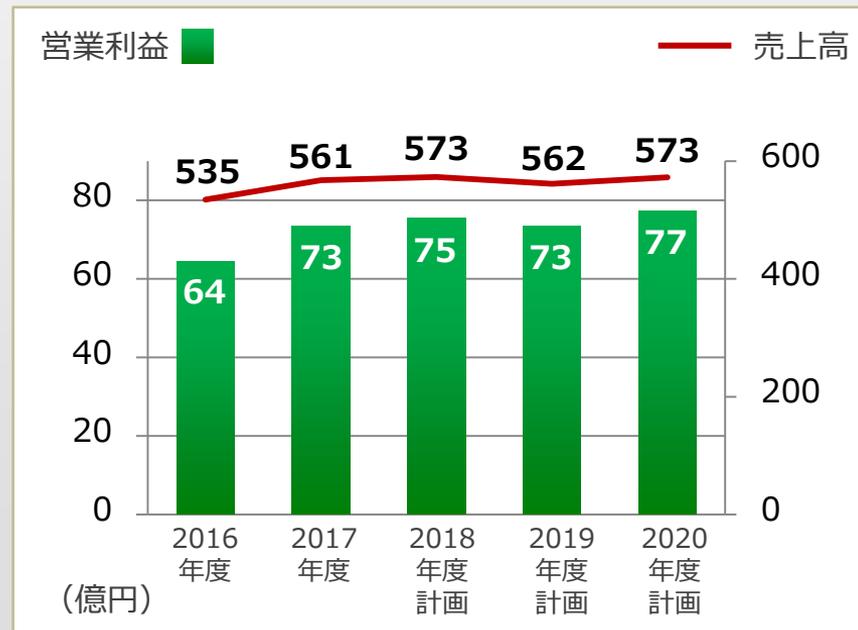
#### 長期ビジョン

- ・石灰石をはじめとした鉱物資源の**新規開発**
- ・**安定した生産、供給体制**を確立

→ **持続的成長**を目指す

#### 中期経営計画の目標と戦略

- ・石灰石等の**鉱物資源の拡販と価値の向上**
- ・**経済的、合理的**な採掘、生産方法の追求
- ・国内外における石灰石等の**鉱物資源開発の推進**
- ・**BCP**（事業継続計画）の**維持、発展**



### 3. セグメント別戦略

### 資源事業（金属部門）

チリ共和国 **アタカマ銅鉱山**の操業及び日比共同製錬(株)の委託生産による**電気銅製錬事業**を展開。

#### 長期ビジョン

- ・ 製錬業と鉱山業の両輪を効率的に回しシナジーを創出

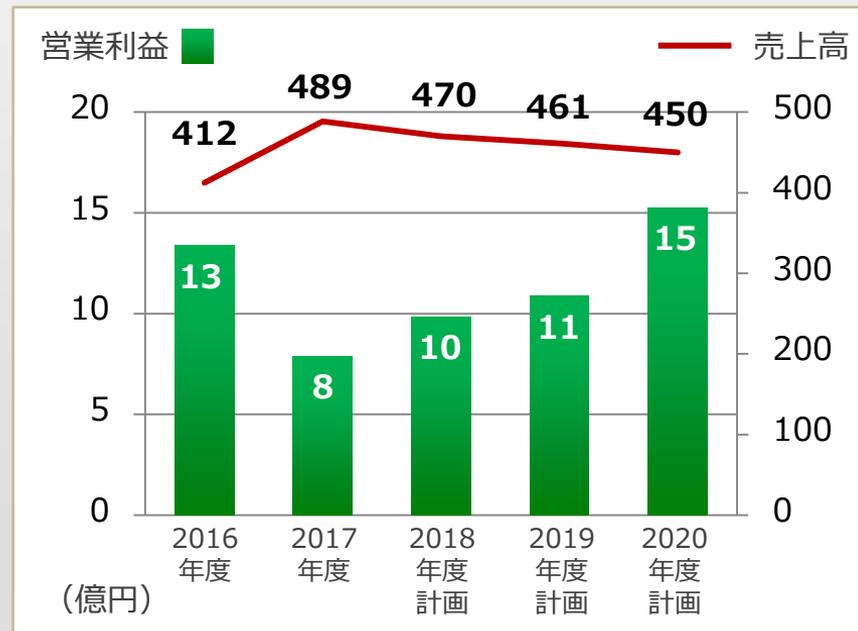
➡ **利益の最大化**を図る

- ・ 新規鉱源を開発

➡ **持続的成長**を目指す

#### 中期経営計画の目標と戦略

- ・ **国内製錬コスト低減**による製錬事業の**業績改善**
- ・ チリ共和国アタカマ銅鉱山の**安定操業**並びに**追加鉱量**の獲得
- ・ チリ共和国アルケロス銅鉱山の**調査、開発促進**
- ・ **銅以外の非鉄金属**の事業化検討



**環境部門**：当社が独自に開発した鉄系無機高分子凝集剤「ポリテツ®」を中心に排水処理薬剤を販売。

**機械部門**：地球にやさしい環境対策商品を中心に、集塵機・一般産業機械からモノレールまで幅広いニーズに対応した商品を販売。

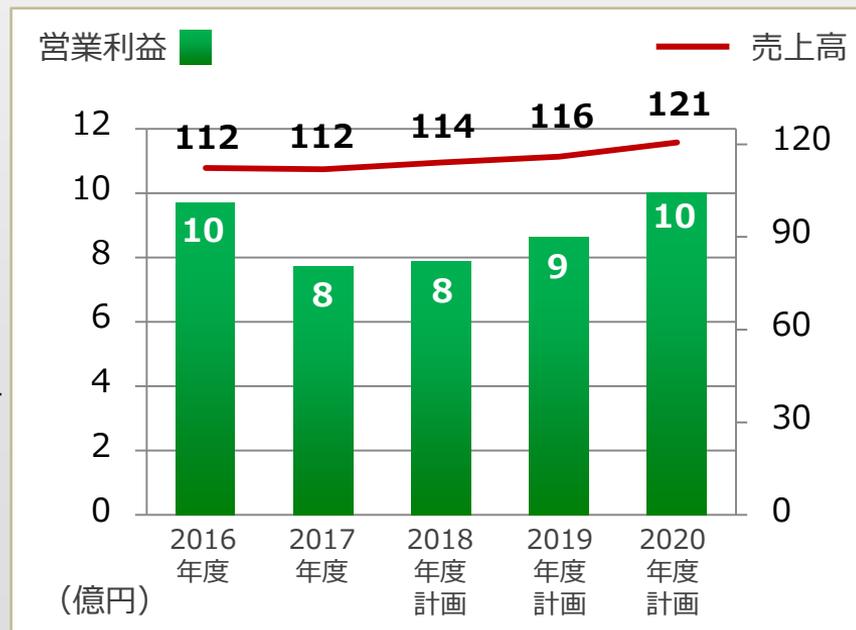
### 長期ビジョン

- ・ 社会のニーズに応じた良質な商品を提供
  - ・ 事業フィールドをアジア圏に拡大
- 持続的成長を目指す

### 中期経営計画の目標と戦略

- 環境部門**
- ・ 企画提案型ビジネスの強化によるブランド力向上
  - ・ 海外新拠点開拓によるアジア市場の販路拡大

- 機械部門**
- ・ 海外調達量増大によるコストダウン推進
  - ・ IoT活用による新しいサービスの提供



### 3. セグメント別戦略 不動産事業

都市部の社有地では**オフィスビル**や**マンション**を経営。

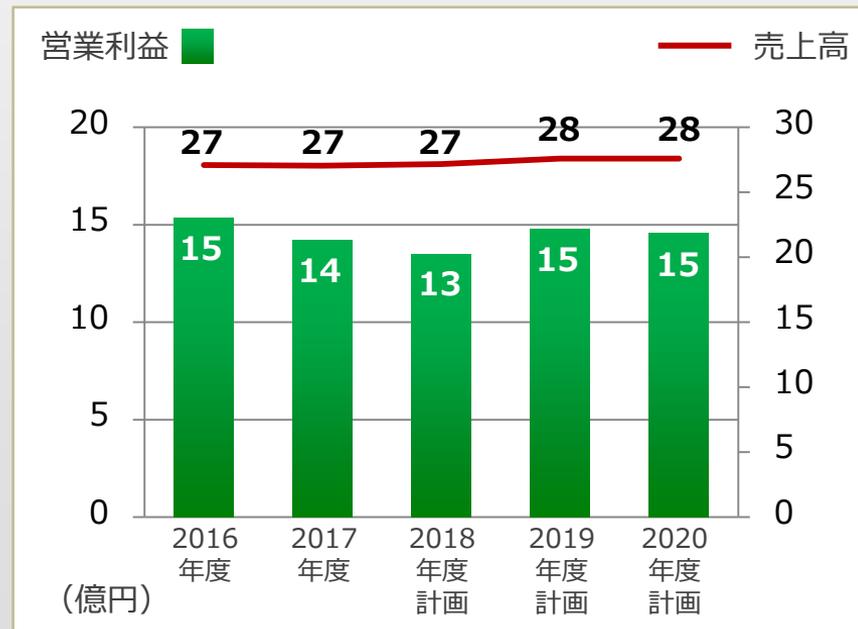
全国各地の鉱山跡地や遊休地では**飲食・物販店舗**、**工場・倉庫**、**駐車場等**の**賃貸事業**を展開。

#### 長期ビジョン

- ・ 社有不動産を**有効に活用**
- ・ **安定収益の確保を最優先**して効率的に運営

#### 中期経営計画の目標と戦略

- ・ **賃貸物件価値の最大化**
- ・ 遊休社有地の洗い出し及び採算性を見極めた中での**新規物件の事業化**
- ・ **テナント先との信頼関係の構築、強化**



地熱発電、太陽光発電、水力発電など**地球環境に配慮した自然エネルギー**を開発。

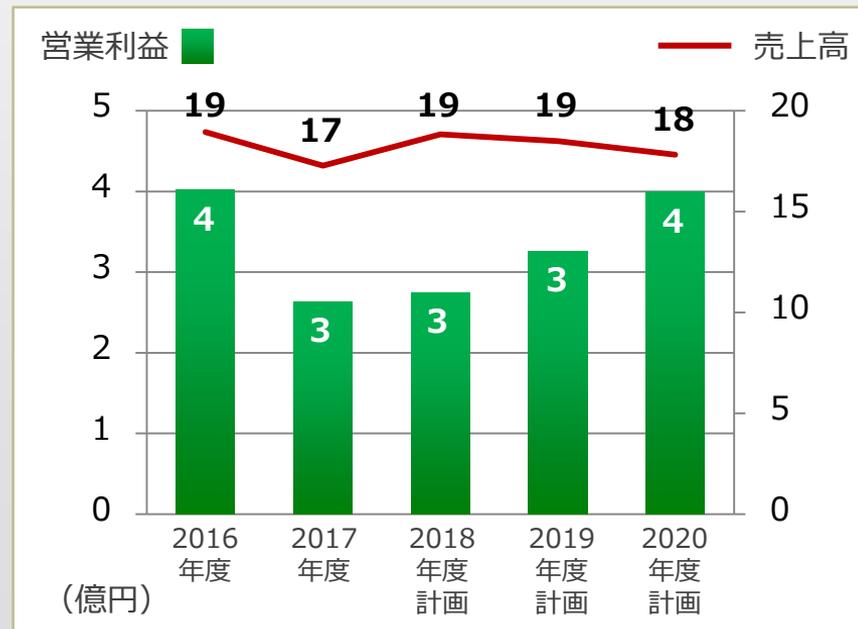
## 長期ビジョン

・再生可能エネルギーの調査・開発・運営

→ 地球環境保全への貢献を目指す

## 中期経営計画の目標と戦略

- 地熱発電  
大霧発電所への蒸気安定供給と新規開発推進
- 太陽光発電  
全国8箇所のメガソーラー発電所の安定操業と管理の効率化
- 水力発電  
釜石鉾山大橋地下発電所及び第2発電所の安定操業
- 新規テーマ  
経営資源を活用した新規開発テーマの探索



# 3. セグメント別戦略

## 再生可能エネルギー事業

再生可能エネルギー事業における取り組み  
再生可能エネルギーの調査・開発・運営を通じて、地球環境保全への貢献を目指す。



## 4. 資金計画・設備投資計画

### 資金計画

	2016年度 実績	2017年度 実績	2018年度 計画	2019年度 計画	2020年度 計画
営業キャッシュフロー（億円）	121	124	112	113	130
有利子負債残高（億円）	238	227	199	193	228
自己資本比率（％）	58.6	58.8	60.1	60.8	60.0

### 設備投資計画

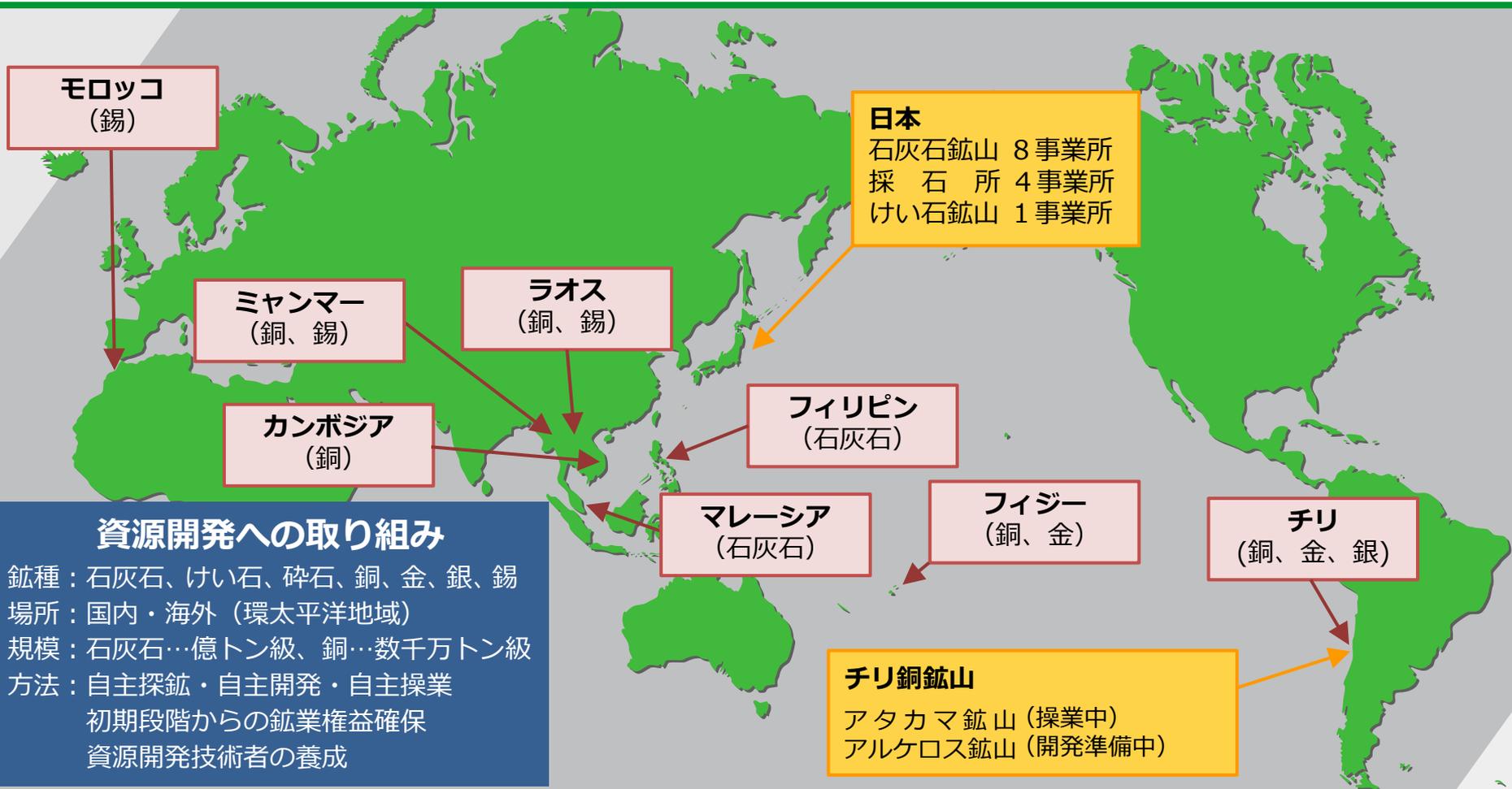
	2016年度 実績	2017年度 実績	2018年度 計画	2019年度 計画	2020年度 計画
設備投資（億円）	65	54	90	90	179
減価償却費（億円）	59	54	71	71	73

（セグメント別投資内訳/億円）

資源事業（鉱石部門）	42	36	77	64	68
資源事業（金属部門）	6	4	4	19	106
機械・環境事業	1	3	1	2	0
不動産事業	0	2	3	2	1
再生可能エネルギー事業	18	9	3	3	7
共通・セグメント間消去	▲2	0	2	0	▲3
合計	65	54	90	90	179

# 5. 資源開発

稼行中・開発準備中の鉱山  
主な探鉱案件



## 資源開発への取り組み

鉱種：石灰石、けい石、砕石、銅、金、銀、錫  
場所：国内・海外（環太平洋地域）  
規模：石灰石…億トン級、銅…数千万トン級  
方法：自主探鉱・自主開発・自主操業  
初期段階からの鉱業権益確保  
資源開発技術者の養成

# 6. 研究開発

## 資源事業

- 無機粉体の合成
- 膜被覆技術を応用した新素材の応用製品の開発

粉体にナノレベルの膜をコートするユニークな技術を活用し、様々な粉体に機能を付与する。

粉体・素材  
関連

機械・環境  
関連

技術  
鉱山技術  
鉱物合成技術

鉱物  
プロセス  
関連

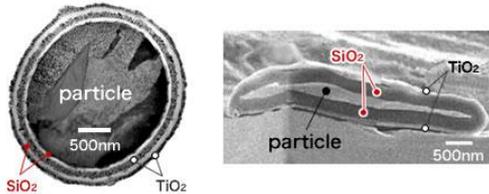
- 銅鉱山における選鉱プロセス開発、実収率改善・操業管理手法の検討
- 難処理鉱を対象とした次世代選鉱技術の研究開発

当社が操業もしくは開発する金属鉱山に最適な選鉱プロセスを構築する。

## 機械・環境事業

- 各種産業排水を対象とした水処理剤の開発
- 主に環境対策を目的とした機械装置の開発

既に市場に投入している水処理剤や各種機械装置を顧客ニーズに基づき改善改良し、拡販を図る。



シリカチタニア被覆粒子例



アタカマ鉱山浮選プラント



ラボ浮選試験



無機凝集剤ポリテツ



ポリテツの使用例



シンターラメラフィルタ  
(産業用集塵機)



プラズマダッシュΣ  
(脱臭装置)

## 7. 株主還元方針

### 基本方針

自己資本の充実と株主還元の両面の最適なバランスを図りながら  
**長期安定的な配当を実施する。**

### 背景

鉱山は探査から操業開始までに  
長い時間を要する

鉱山閉山時は跡処理費用及び  
鉱害防止費用の負担が必要

資源価格の変動がある中、  
短期的には利益の増減が発生



本中期経営計画の最終年度までに、  
年間1株当たり**100円以上**を目指します。

## 8. 将来情報についての注意事項

本資料に掲載されている計画・見通しに関する内容につきましては、当社が現時点で合理的であると判断する一定の条件に基づき作成したものであり、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。

実際の業績は、様々なリスク要因や不確実な要素により本資料の計画等と大きく異なる可能性があります。

